

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2016年 8月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2016年 8月1日発行 通巻280(毎月1回発行)

山行メンバーの

事前打ち合わせを確実に

8月号目次

・ 目 次	2
・ 7月理事会報告	3
・ 岳人あびこ20周年式典報告	5
・ 今年の尾瀬リポート	6
・ 第10会ワンコイン報告	7
・ ゆう 6月支援活動報告	8
・ 県連たより	11
・ 県連予定表	12

表 紙 説 明

会・クラブ名の頭に「岳人」が付いているのは、千葉県連はもとより全国・622団体でも「岳人あびこ」だけです。

「山と溪谷」は軟弱、「岳人」は硬派の印象もそうです。(個人的見解)
今回、参加して「岳人あびこ」は、まさしく硬派の会を実感しました。
記念講演の金 邦夫先生の話しにもありましたが、岳人あびこの印象について
「矜持」(キョウジ)と、漢字を書いて説明しました。

金先生は「登山者よりも山や」「山やのプライド」「ケガと弁当は自分持ち」
など、私も大いに共感しました。なかでも「ネンザくらいで救急車は呼ばない」
は、遭難救助の最前線で活躍して来た、金先生から聞くと説得力が違います。
懇親会では武内会長、桑原さんも交えてその種の話で大いに盛り上がりました。
「矜持」とは広辞苑によると、自負・プライドとあります。

—— 編集者 ——

7月・県連理事会報告

7月県連理事会を開催しましたので、以下のとおり報告します。

- ◆ 実施日 2016年7月21日（木）19時より
- ◆ 場 所 船橋市西部公民館 第4会議室
- ◆ 参加会 松戸山の会・東葛山の会・岳人あびこ・シリウス山の会・ちば山の会
ふわくハイキングサークル・千葉こまくさハイキングクラブ・茂原道標
山の会・山の会「岳樺クラブ」・船橋勤労者山の会・山の会らんたん
- ◆ 参加役員 古瀬顧問・広木会長・鶴田副会長・桑原ハイキング委員長・岡田教遭
委員長・小林会計担当
- ◆ オブザーバー 岡田ふれあいハイク実行委員長（千葉こまくさハイキングクラブ）
- ◆ 議 題

1、創立50周年事業関連

- ① 「房総の山50選」について : 山行報告書の最終作業を実施中、8月中に
最終版を各会にバックするのでチェックを行って下さい。
チェックは、早急に実施し「東葛山の会・安彦さん」に返送の事。
- ② 記念誌について : 古瀬顧問を中心に、掲載内容、原稿依頼、県連の歴史等
について検討を進めている。
年代の古い資料・写真の提供をお願いします。
- ③ 創立50周年記念交流会について
 - ・ 実施日：2017年1月14日（土）・15日（日）
 - ・ 場 所：千葉県立 清和県民の森・ロッジ村27棟
 - ・ 参加人数：135名～150名
 - ・ 当日の企画・運営に各会より、1名以上の参加をお願いします。

2、役員選出・6会合同会議報告

7月14日（木）に県連事務所で実施しました。

- ① 6月25日（木）に実施した「県連理事・会代表者合同会議」で確認した
 - ・ 役員選出に関する、ルールづくりを行う。
 - ・ そのルールに基づいて、欠員役員を選出する。
- ② 加盟会19会から、会員数の多い順に6会を選出し、協力の了解を得た。
(県連会員数・768名 6会合計会員数・564名 全会員数の73%)
 - ・ 参加会 東葛山の会・松戸山の会・ふわくハイキングサークル・
船橋勤労者山の会・ちば山の会・千葉こまくさハイキングクラブ
- ③ 出された主な意見。発言の詳細は各会に別途報告します。
 - ・ 今回の合同会議のテーマ「役員選出のルール」の討議には、県連の実情や、
活動の詳細等の理解が必要との意見が多く出された。
 - ・ 役員個々の仕事や分担・役割などのイメージがわからない。県連の資料が
ほしい。

- ・会員数が上位と言っても、会の現状や地域・交通の問題・会員の構成等の考慮も必要ではないか。
- ・会議の場所・回数、役員の数などの検討も必要である。
- ・会の役員をやっていく中から、県連役員を受けてくれる人が出てくる可能性がある。それにはある程度の年数が必要である。
- ・県連がどう受け取られているのか、県連に何故入っているのか（県連行事に参加した人、していない人の県連に対する意見・理解に差がある）
- ・若い人の発想を入れないと、若い人の参加はなく、若い層の役員もない。
- ・県連には何かをやってもらいたい。岩・沢・スポーツクライミング等の講習会の実施、若い人達の興味は多様化している。
- ・役員選出は、ルールづくりからやって行くしかないのでは。
- ・6会に限定せず、少人数の会からの選出も考慮すべき。

④ 6会合同会議の、今後の進め方について

今回の会議の目的は、役員選出に関するルールをつくる事、そのルールによって欠員役員を選出する事である。

1回の会議では目的を果たすことは出来なかった。しかし、なぜ今ルールづくりなのか、県連の現状はどうなのか等について意見交換が出来た事は大変重要であり、今後につながる会議であった。さらに話し合いを持つことで、県連について共通の認識を持つ事が出来ると思われる。

6会の県連理事・代表者のご協力をいただき、年内の解決を目指したいと思います。6会以外の県連理事・代表者からのご意見をお願いします。

（報告・文責 千葉県連会長 広木 国昭）

◆ 次回・6会合同会議 9月27日（火）19時より 県連事務所

千葉県連創立50周年記念交流会のご案内

千葉県連は1967年に活動を始めました。

今年は、創立50周年の記念すべき年になります。千葉県連は会員の皆様の参加・ご支援を得て、いくつかの記念事業に取り組んでいます。

その最後の仕上げとして、「創立50周年記念交流会」を実施します。参加者全員で、千葉県連50年の歴史を確認し、新しい千葉県連の第一歩にしたいと思います。

全会・クラブの参加をお願いします。

- ◆ 実施日 : 2017年1月14日（土）・15日（日）
- ◆ 会 場 : 千葉県立清和県民の森・ロッジ村（貸切）
- ◆ 参加人数 : 135名～150名
- ◆ 各会・クラブより、実行委員の選出をお願いします。
- ◆ 当日の準備・運営等に、アイデア・アドバイスをお願いします。

岳人あびこ 創立20周年式典 出席報告

千葉県連 広木国昭

「岳人あびこ」 創立20周年式典に出席しました。

7月16日（土）13：30より、我孫子市けやきプラザで開催され千葉県連からは、桑原ハイキング委員長と広木が参加してお祝いを伝えました。

良い機会ですので、私なりに感じた「岳人あびこ」を紹介させていただきます。

1996年（平成8年）に8人で活動をスタートし、我孫子市を拠点に活動しています。現在、会員は東葛地区在住の60名が参加し、山行は年間50回以上延べ人数600名が参加している。創立以来、安全登山を基本に、一人ひとりの好みと能力に応じた楽しい登山を目指し、仲間との親しみを大事にして豊かで質の高い登山を目指して活動しているとの事です。

また地域との交流にも積極的に取り組んでいる。「市民登山」（年1回・通算14回）を行い登山の素晴らしさを体験してもらい、参加者の入会も報告されています。また、障害者と一緒にハイキングを楽しむ「ウイズハイク」（年1回・通算6回）を継続しています。

今回感じた事は、会員全員が「会と会員を大事にしている事」その中心にあるのは「安全登山と楽しい登山の追及」です。これらが、一本スジの通った「岳人あびこ」の原点であるのでしょう。

記念講演は、金 邦夫氏が「すぐそこにある遭難事故」と題して、遭難救助の最前線での豊富な経験を講演しました。金さんについては、よく御存じだと思いますので紹介は省略させていただきます。

機会があったら、その著書「すぐそこにある遭難事故」「金副隊長の山岳救助隊日誌」をぜひ読んでください。いつでもどこでも遭難事故が潜んでいる事を学んで下さい。また、山の会には不釣り合いな？（失礼）、マンドリンクラブの演奏がありました。青い山脈や高校3年生などをマンドリンの伴奏で、私も久しぶりに高校三年生を歌いました。良い意味で、参加者の年齢にピッタリな選曲であったと思います。

落語もありました。正真正銘のプロの噺家で、受け狙いのありきたりの噺ではなく、その場を心得た話術に和やかな気持ちになりました。



手料理が並ぶ懇親会



金 邦 夫 先 生

今年の尾瀬の春 残雪の無い至仏山・雪解け水も見えない

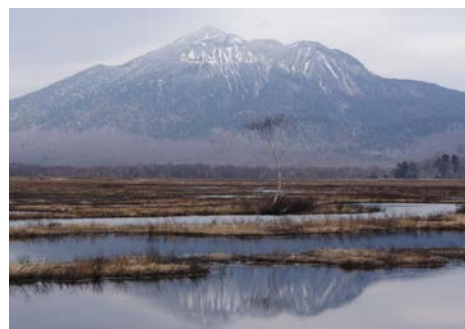
野口 義夫（ふわくハイキングサークル）

2016年、尾瀬自然ガイドの初日は5月28日。前日（27日）に下見を兼ねて尾瀬ヶ原を歩きました、だが例年と丸で異なる景色に驚きました。ミズバショウの白い苞が見えず葉が大きく育ち、ワタスゲの花穂が白く枯れかかっていました。何より至仏山には残雪も雪形も無いのです。川上川の水量も少なく、竜宮現象と言われる沢水の吸い込みや湧き出しの力が見られません。

4月下旬に、定宿のご主人が「もう山道の雪が消え、ミズバショウが咲きだしました」と電話口で話しており、尾瀬保護団体のホームページでも「今年は例年になく雪が少なく、雪解けが早い」と紹介していました。地元のガイド仲間も「63年ぶりの小雪、花の咲き方が1カ月も早い、ミズバショウの白い姿は5月中旬で終わった」と解説してくれました。

「トガクシショウマを観に行こう」とのふわくハイキングの仲間の6月上旬の計画は中止になりました。ツアー会社でも、4月下旬のスノーシューハイクが取り止めになり、ミズバショウで募集したツアーでは、キャンセルが続出したとの話も聞きました。

6月に入って、群馬県のダム群で貯水量が少ないとの報道は「5月の降水量が少なかったから・・・」と解説していましたが、雪解けが少ないのが原因と思います。それでは春が早かったのか、そうではないようです。気温はむしろ低いほどで、6月中旬に何度か遅霜が有り、ヤグルマソウの葉が黒く焼けるなどの影響も出ました。7月に入り、ワタスゲが終わり、カキツバタが咲き、ニッコウキスゲやトキソウ、サワランが咲きだしています。咲き方は早いのですが、少しずつ例年に近づいているようにも見えます。8月から9月には、いつもの尾瀬になるのか、こうして自然のバランスを取り戻していくのかなー、と思っています。どんな秋を見せてくれるのか、今から楽しみです。



（写真提供・東葛山の会・安彦氏）

この時期にしては雪が少ない、暖冬は動植物の生態系に深刻な状況を与える

◆ 野口 義男 さんのミニ紹介

- ・ 労山、全国連盟理事・自然保護委員として長年活動しています。（東京都連盟所属）
- ・ 尾瀬自然ガイドとして、尾瀬の自然保護・登山者へのレクチャーをライフワークとして参加している。

第10回ワンコイン講習会 報告

千葉県連盟 女性委員会

ワンコイン講習会とは、いつまでも山に行ける体力を維持するために「楽しく学ぶ、正しく学ぶ」をテーマに実施しています。

ある年齢になり、膝や腰の故障や脚の筋肉の衰え等により、退会して行く報告が多くなっています。仲間との山行が無理になり、長年山行を共にした大切な山仲間が体の故障や痛みで、大好きな登山やハイキングを諦めるのは大変辛いことです。

女性委員会では、自身の山行経験から歩行中のバランスや下りでの膝痛対策が必要であることを実感し、正しいトレーニングとメンテナンスの習得に取り組んで来ました。今までのトレーニング・メンテナンスと言え、自己流のストレッチが主流でした。

これまでに、「山で役立つ、体に優しい歩き方」(マンティンゴリラ・安村淳先生)「バランスを養う筋トレとメンテナンス」などに、取り組み大きな成果を挙げました。今回は、石田良恵先生を迎えて「山筋ゴーゴー」体操を実施しました。

石田先生は、第2回ワンコイン講習会(2008年11月)に続いて2回目です。前回は山筋ゴーゴー体操は完成していませんでした。千葉県連では初めての講習会でした。当日は、講習内容に見合った会場が確保できず、石田先生と参加者の皆さんにご迷惑をおかけしました事をお詫びします。



石田先生・さすがに鍛えられた
アスリートの体型です。



全国連盟女性委員3名が
サポーターとして参加

！ 女性委員会からのお願い ！

女性委員会は、現在たったの5名で活動しています。委員会は、2月に一回・参加者の都合の良い時間に合わせて、楽しかった山行や、会の事など、笑ったり愚痴ったり、和気あいあいと楽しく実施しています。現在は、ワンコイン講習会の取り組みが中心ですが、委員数がもうちょっと多くなれば、委員の交流山行なども実施したいと思っています。

各会から、1名で良いです、女性委員会に参加して下さい。

2016 年 6 月南相馬支援報告

鶴田 秀雄（ちば山の会）

4 月に引き続き小高地区に支援に行ってまいりました。小高地区は 3 月に帰宅制限が解除され、7 月から帰還が開始されるそうです。

日程：2016 年 6 月 18 日～19 日（千葉前夜発） 二日間とも晴れ

活動場所：福島南相馬小高地区

参加者：2 日間通し 8 名 1 日目のみ 6 名

活動内容：1 日目 神社境内及び周辺の草取り

2 日目 個人宅からの不要家財搬出

【1 日目】

ボランティアセンター（V.C.）に集結した人の数は 200 名近く、熱気にあふれていました。神社は V.C.から車で 15 分ぐらい行津（なめづ）という集落にある星という神社。海岸から 1k ぐらい入ったところにあり津波の被害は免れたようですが、地元の方にあがめられていましたが、いまは管理する人もなくどのように維持していこうか悩んでおられるそうです。神社はなかなか立派で石垣もあり、階段を上がった本殿の前には樹齢 350 年、行津の大杉という巨木があります。V.C.長から草以外は絶対にいじるなと言うお達しがあり、大杉の前でお参りしてから作業を開始しました。丈の高い草は既に刈りはられていましたが、周囲と一体となっている神社の範囲は広く、目立たないところに草がいっぱい生えておりけっこう忍耐を要する作業でした。作業終了後眺めてみると、朝来たときとは見違えるようにきれいになっていて、人海戦術ってすごいなあと感じつつ神社を後にしました。

依頼側の方と接することはありませんでしたが、もともと神様は人間の前にはお姿をあらわさないものですね。V.C.に戻り、そこで 1 日目のみの 6 名の方とお別れしました。

【2 日目】

今日は人数は 8 人。仕事は V.C.からすぐのところにある種苗店をしておられたお宅から不要家財を運び出し、分別して袋に詰めるまで。V.C.長によれば 4 人で半日もかからないだろうとのこと。早く終わったら別の仕事を頼むから電話してくれと言われました。だが行って見ると、2 階家のお宅は部屋数も多く、2 階からの大物の運び出しも多く、冷蔵庫など重量物の配置換え（部屋移動）もありました。我々を待っていた家主さんの品のよい初老のご夫婦のご指示のもと、みな精一杯作業に精を出しました。ただ時間内に完了は無理でその旨 V.C.長に電話を入れると、すぐ見に来られました。物が詰められた袋を一見した V.C.長は、ナイフを取り出して袋の中を覗き込み、袋内側の 4 隅にある広がり防止用のテープを切断し始めました。我々はそれをせずには物を詰めたため、中にすき間があったりつめ終わった袋の形も不安定でした。このことを事前に指示しなかった私が悪いと言っていた V.C.長も、だんだん態度が高圧的になり、やり直しやプラスアルファの仕事を命じて V.C.に戻っていきました。一連のやりとりを見ておられた家主さんが申し訳ないと恐縮されたご様子。やり直し作業が完了したのが当初予定を 40 分オーバーした 12 時 40 分ごろでした。

V.C.長から電話があり、午後続きをやってもらうグループの手配ができたので適当なところできりあげていい、また時間を越えてしなければならない状態に追い込んだことは申し訳ないとのメッセージがありました。みなさんに不愉快な思いをさせてしまったのは、袋詰め作業を確認しなかった私の責任です。申し訳ありませんでした。

家主さん差し入れの冷たいものにのどを潤し、家主さんのお礼の言葉に気を取り直してV.C.に戻りました。

【帰路】

今回お二人の方が初参加でしたが、帰路浪江の「希望の牧場」に寄られました(記 H.T.)。



1日目 作業開始前 大杉と一緒に

神社の謂れ



一草も残さじ



、 二日目 指示する V.C.長（左端の方） みんな聞いているかな



残業にいそしむ

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)

- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまでお願いします。
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
常時入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
 - ・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>

 - ◎ 支援活動日のお知らせ
 - ・ 8月はお休みします。
 - ・ 9月10日・11日 福島

 - ◎ 支援物資販売活動について
 - ・「ゆう」の財政活動として、支援活動に参加する皆様の、交通費補助に大変役立っています。
引き続きご協力をお願いします。
 - ・三陸・気仙沼直送の支援物資は「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」「くきわかめ」「すき昆布」「とろろこんぶ」
常時用意しています。
宅配も、相談下さい。

支援物資に関する問い合わせは
下記アドレスに連絡を！
danphiro@zpost.plala.or.jp

県 連 活 動 予 定 表

9 月		行事予定	8月		行事予定
	1 木		1 月		
	2 金		2 火		役員会
	3 土		3 水		
	4 日		4 木		
	5 月		5 金		
	6 火	役員会	6 土		
	7 水		7 日		
	8 木	県連理事会	8 月		
	9 金	(理事会は8日に実施します)	9 火		
	10 土		10 水		
	11 日		11 木		山の日
	12 月		12 金		
	13 火		13 土		
	14 水		14 日		
	15 木		15 月		
	16 金		16 火		
	17 土		17 水		
	18 日		18 木		ゆう役員会(理事会休み)
	19 月		19 金		
	20 火		20 土		
	21 水		21 日		
	22 木		22 月		
	23 金		23 火		
	24 土		24 水		
	25 日		25 木		
	26 月		26 金		
	27 火	広報担当者交流会(予定)	27 土		関プロ役員交流会
	28 水		28 日		〃
	29 木	50周年実行委員会	29 月		
	30 金		30 火		
			31 水		創立50周年実行委員会

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者 : 吉田 哲治 編集責任者 : 広木 国昭

問い合わせ先 : 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ